

体験して学ぼう！

金融・経済・起業

Financial Quest

# 金融クエスト

3

## レジャーランドの経営を立て直そう！

株式会社のしくみを学ぼう

### —— 教授用手引書 ——

#### ●概要

経営難のレジャーランドの取締役となり、経営改善していく活動を通じて、株式会社の仕組み、企業情報開示の意義などについて学びます。

#### ●ねらい(目的)

- ・株式会社の仕組みについて理解すること。
- ・企業情報の開示の重要性について理解すること。



# 使用教材

| 生徒用テキスト   | 動画  | 事業結果カード(2種類)   |
|---|---|--|
|  |  |    <p>表 裏(結果)</p> <p>黒板に2枚貼り、グループごとにどちらかのカードを選ばせる。</p> |
| ※紙媒体の場合1人1冊<br>※WEBサイトにPDF有   | ※WEBにて視聴可能  | (WEBワーク)<br>事業結果カードをめくろう   |

## 生徒用WEBサイト

<https://www.j-flec.go.jp/quest/student/03lk/>



## 動画内容

- ▶ **動画① はじめに(3分)**
  - ・売上減少が続くレジャーランド取締役として改善計画を考える。
  - ・株式会社、株主、所有と経営の分離、取締役会、株主総会、株主の権利、有限責任等について説明する。
- ▶ **動画② ワーク①説明 株式会社の経営を体験! | 取締役会で話し合おう!(1分)**
  - ・ワーク「株式会社の経営を体験! | 取締役会で話し合おう!」の進め方を説明する。
  - ・企業情報を確認して経営改善に向けた課題を見つける。
  - ・取締役会を開催し、事業計画案を決める。
- ▶ **動画③ ワーク②説明 株式会社の経営を体験! | 株主総会を開こう!(1分)**
  - ・ワーク「株式会社の経営を体験! | 株主総会を開こう!」の進め方を説明する。
  - ・株主総会で発表する準備をする。
  - ・株主総会を開催して株主に発表し、発表を聞いている人は株主として、発表を聞く。
  - ・事業結果カードをめくる。
- ▶ **動画④ まとめ(2分)**
  - ・事業結果カードの結果を振り返る。
  - ・会社(企業)は、利害関係者に適切に企業情報の開示を行っている。

## 学習の展開

|            | 授業の流れ                                 | 活動  | 指導のポイント |
|------------|---------------------------------------|---|---------|
| 導入<br>3分   | ポイント説明<br>動画①を視聴(3分)<br>生徒用テキスト:P.1,2 | ・動画の視聴<br> |         |
| 展開①<br>15分 | ワーク①説明<br>動画②を視聴(1分)<br>生徒用テキスト:P.3   | ・動画の視聴<br> |         |

|                                       | 授業の流れ   | 活動   | 指導のポイント   |
|---------------------------------------|---|--|---|
| 展開①<br>15分                            | グループワーク<br>生徒用テキスト:P.4~6<br>※ワークシート①を使用   | <ul style="list-style-type: none"> <li>企業情報を分析し、課題を見つける。</li> <li>取締役会を開催し、事業計画案を一つ決める。</li> <li>ワークシート①へ資料番号と見つけた課題を記入する。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>一番解決したい課題を解決できる事業計画案を選ぶように伝える</li> <li>企業情報の「入場者の声」にヒントが隠されていることを伝えても良い</li> </ul>   |
| 展開②<br>25分                            | ワーク②説明<br>動画③を視聴(1分)<br>生徒用テキスト:P.7   | <ul style="list-style-type: none"> <li>動画の視聴</li> </ul>   |   |
|                                       | グループワーク<br>生徒用テキスト:P.7,8<br>※株主総会発表シートを使用   | <ul style="list-style-type: none"> <li>株主総会で発表するため、取締役会で話し合った内容をもとに「株主総会発表シート」に課題、事業計画案、事業の詳細を記入する。</li> <li>株主総会で発表する代表取締役(社長)を決める。</li> <li>各グループの代表取締役(社長)は、「株主総会発表シート」に沿って株主総会で株主に発表する。</li> </ul>                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>会社は株主総会で株主に説明をして理解してもらう必要があることを伝える</li> <li>「株主総会発表シート」の「ア課題」には、ワークシート①で整理した「解決したい課題」を参考に、「イ事業計画案」には、ワークシート①で選んだものを、「ウ事業の詳細」には、「イ事業計画案」をより具体的にどのような事業を行うのかを記入させる</li> <li>発表は各グループ1分程度で簡潔に行うように指示する</li> </ul> |
|                                       | 個人ワーク<br>生徒用テキスト:P.9<br>※ワークシート②を使用   | <ul style="list-style-type: none"> <li>他のグループの発表を聞き、気づいた点をワークシート②に記入する。</li> <li>全グループの発表を聞いた後、個人としてどの事業計画案が良いと思うかを再考し、理由も記入する。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>他のグループの発表を聞いている時は、一人一人が「株式会社クエスト・レジャーランド」の株主として株主総会に参加している立場であることを伝える</li> </ul>   |
| グループワーク<br>生徒用テキスト:P.9<br>※事業結果カードを使用 | <ul style="list-style-type: none"> <li>全グループ発表後、事業計画が1年後にどうなったか、黒板に「事業結果カード」の表面を2枚貼り出し、グループごとに、右、左のどちらか選択させる。</li> <li>カードをめくり、事業の成否、その内容を確認する。</li> </ul> <p>&lt;WEBワーク&gt;<br/>各グループで1台の端末を使う。<br/>WEB上で事業結果カードを選択する。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>事業結果カードをめくった後、成功と残念、それぞれの今後の事業について確認するように伝える</li> <li>実際には、会社は事業計画が成功するように努力を積み重ねており、このような会社の取組みが経済を支えていることを説明する</li> <li>発展的な学習として、銀行借入や社債発行で資金調達することとしたワークを実践しても良い</li> </ul> |   |
| まとめ<br>7分                             | まとめ<br>動画④を視聴(2分)<br>生徒用テキスト:P.12,13  | <ul style="list-style-type: none"> <li>動画の視聴</li> </ul>   |   |
|                                       | 個人ワーク<br>生徒用テキスト:P.10,11<br>※ワークシート③を記入   | <ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート③を記入</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>株式会社のしくみについての知識の定着等を確認する</li> </ul>  |

ワークシート③の解答

- P.10 (左)株主 (右上)株主総会  
(中段中央 上)取締役会 (中段中央 下)代表取締役(社長)・取締役(順不同)  
(中央右)監査役 (中央下枠)従業員
- P.11 2. 株式会社は、資金を提供する人(株主)と、実際に経営する人(取締役)に分かれている。会社の所有者である株主は、取締役の選任や会社の経営に重要な影響を及ぼす事項について「株主総会」で投票することで、経営に関わることができる。
3. 会社が持続的に成長・発展していくためには、利益を出すことも重要である一方で、会社が社会や環境に対して与える影響について責任を持って行動し、社会や利害関係者(ステークホルダー)に信頼されることも大切だから。

## ●解説参考

### ・株主の権利

株主の権利には大きく「自益権」と「共益権」に分けられます。自益権は株主個人の金銭的な権利のことです。生徒用テキスト(P.2)であげた「利益配当請求権」の他にも会社が解散した時に残った会社の資産を受け取れる「残余財産分配請求権」があります。一方、共益権は、会社の経営など株主全体に関わる権利のことです。生徒用テキストにあげた「議決権」がその代表です。

### ・企業の会計情報(財務諸表)

会社の会計情報(財務諸表)には、生徒用テキスト(P.12)であげた「貸借対照表」のほかにも「損益計算書」や「キャッシュフロー計算書」などがあります。

#### ・損益計算書：

一定期間における会社の経営成績を表す“収支報告”のこと。その会社が“どれだけの利益を上げ、損失が生じたのか”がわかるので、会社の「収益性」の分析に役立ちます。

#### ・キャッシュフロー計算書：

「キャッシュ・フロー」とは、お金の流れ(流入・流出、収入・支出)のこと。「キャッシュ・フロー計算書」とは、会社の一会計期間中の現金などの増減を表したもので、会社の経営状態を、資金の流れ・増減を通してチェックすることができます。

## 体験型教材「金融クエスト」の紹介

## 教授用手引書

2021年4月 発行

2023年3月 改訂

2024年8月 改訂

制作 金融経済教育推進機構

発行 株式会社 清水書院

発行者の許可なしに本テキストの内容の全部または一部を無断で複写、複製または転載することを固く禁じます。なお、これらの承諾については、金融経済教育推進機構まで、お問い合わせください。

「金融クエスト」シリーズでは、経済や金融に関する内容を、グループワークなどを通じて体験的に学ぶことができます。5つの教材はそれぞれ分けて学ぶことができるようになっています。

### ①起業で社会的課題を解決しよう!

「投資・起業を学ぼう」

### ②チャレンジ大航海!

「間接金融と直接金融のしくみを学ぼう」

### ③レジャーランドの経営を立て直そう!

「株式会社のしくみを学ぼう」

### ④あなたの会社はどうなる?

「社会の変化と会社への影響を学ぼう」

### ⑤将来のために資金を運用しよう!

「資産形成と金融商品の特徴を学ぼう」